

岡部耕大

65

もう、かれこれ二十数年前のことである。当時の松浦市長からわたしに会いたいとの連絡があつた。わたしは下北沢の本多劇場で公演をしていた。確か「風の墓」の公演ではなかつたか。市長とは本多劇場のロビーで会つた。山口洋平市長は開口一番「松浦市に文化ホールを造りたい」とおっしゃつた。すでに設計図もできていた。「あなたのために造る」たるものんですた」「ともおっしゃつた。

國屋ホールや本多劇場のようないい」と率直に述べた。人口2万3千人の松浦市には中ホールが似合うと考えた。

それからは松浦と行ったり来たりであつた。大衆演劇の沢童二から「あなたの故郷はひどかつた。電気もなかつた」といわれて悔しい思いをした松浦市

ばこを吸つたりしてゐるイメージ
見破る古
ジがあつた。わたしは市役所の
横に造ることを強く主張したが
「どうにもならない」とのこと
であつた。本多劇場の本多一圭
社長も松浦までお連れした。た
だ、泊まりは平戸のホテルであ
つた。だれもが平戸に泊まりた
がつた。いまは佐世保のハウス
テンボスである。

ときたのが「松浦党」で、
文化人
浦党は源平合戦にも参戦したが、
軍である。それが「異聞
衰記 風と牙」である。
わたしは松浦吾妻姫と
武に秀でた美貌の松浦学
主人公に置いた。もちろん
在はしない。この美貌の
つて、源頼朝と源義経だ
いを起こすのである。華

ある。松文化人という言葉がある。みずから「わたしは文化人ですか」と名乗る人もいる。昔はベレー帽をかぶり、パイプをふかしていた。あるいはピーケー缶を持っていた。服はロシアの民族服である。ルバシカである。あんな文化人はいない。文化人もどきである。すぐばれる嘘をつく文化人もどきである。その嘘とボーズを見破るのを眞の文化人という。なにもベレー帽はいらかいさかの姫を巡るん、実に朝は義がない。(松浦市出身)

嘘を見破る文化人

その設計図を見ていさか警
いた。収容人数が2千人のホー
ルである。「市長、これは4年
に1回の選挙用のホールです。
あなたのためのホールですた
い」と忌憚なく述べると、苦笑
いをしていた。わたしは「紀伊

に、演劇中心の中ホールができるのである。嬉しくてたまらなかつた。そして、日本中に誇れるホールが完成したのである。

ただ、駅裏に造るというのが気にはなつた。駅裏といえば不良の高校生が喧嘩をしたり、た

山口洋平市長は「ひとつだけ条件があります」とおっしゃつた。それは「今まで書いているような松浦ではなく、華やかな松浦を書いてくれ」ということであつた。「華やかな松浦といわれてもなあ」である。そこでびん

経を追つて松浦までも攻めて来るが、吾妻姫をあがめる玄界灘の龍にやられる。
嘘をドラマという。好きな作品である。嘘は嘘と知つても、だまされる嘘がある。だまされた人も悪い。

わたしは松浦吾妻姫という文
武に秀でた美貌の松浦党の姫を
主人公に置いた。もちろん、実
在はない。この美貌の姫を巡
つて、源頼朝と源義経がいさか
いを起こすのである。頼朝は義

な文化人はいない。文化人もどきである。すぐばれる嘘をつく文化人もどきである。その嘘とポーズを見破るのを眞の文化人という。なにもベレー帽はいらない。

浦党は源平合戦にも参加した水軍である。それが「異聞・源平盛衰記 風と牙」である。

していった。あるいはピーカ缶を持っていた。服はロシアの民族服である。ルバシカである。あん

ときたのが「松浦党」である。松浦文化人という言葉がある。みずから「わたしは文化人ですか
ら」と名乗る人もいる。昔はベレー帽をかぶり、パイプをふか